

船舶事故等調査報告書

平成26年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第52号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年12月5日 10時05分ごろ
発生場所	沖縄県竹富町 ^{かみじ} 上地港北東方沖 竹富町所在の仲間港南防波堤灯台から真方位116° 3.6海里付近 (概位 北緯24° 14.6′ 東経123° 56.7′)
事故等調査の経過	平成25年12月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	引船 第11 ^{よね} 米丸、19トン
船舶番号、船舶所有者等	295-32847 沖縄、株式会社大米建設
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	船底に擦過傷
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、案内人1人を乗せ、船首喫水約1.2m、船尾喫水約2.3mにより、竹富町仲間港から上地港に建設資材を運搬する航路を下見するため、上地港北東方沖を約6ノット(kn)の速力で東進していた。</p> <p>船長はこの航路を航行したことがなかったので、船舶所有者が手配した案内人が、船首に立って海中を監視し、浅瀬があれば、船長に手振りで指示を行いながら、航行していたものの、太陽の光が海面に反射しており、海中の様子がよく分からなかった。</p> <p>船長は、GPSプロッターにより、水深の浅い水域を航行していることに気付き、約4knまで減速し、案内人の指示を注視して航行していたところ、船底の右舷側が接触したように感じ、機関を停止したものの、平成25年12月5日10時05分ごろ、本船が、上地港北東方沖の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船舶所有者に連絡を行い、来援した僚船によって浅瀬から引き出され、自力で航行して沖縄県石垣市石垣港に入港した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の初期、潮高 約1.6m</p>
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし

<p>判明した事項の解析</p>	<p>本船は、上地港北東方沖を東進中、案内人が、船首に立って海中を監視し、浅瀬があれば、船長に手振りで指示を行いながら、航行していたものの、太陽の光が海面に反射し、海中の様子が分からなかったことから、浅瀬に向けて航行することとなり、上地港北東方沖の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、上地港北東方沖を東進中、案内人が、船首に立って海中を監視し、浅瀬があれば、船長に手振りで指示を行いながら、航行していたものの、太陽の光が海面に反射し、海中の様子が分からなかったため、浅瀬に向けて航行することとなり、上地港北東方沖の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海中を監視しながらの航行は、海中の様子が分かるときのみとすること。